

# 会議録（アグリケアホームいといがわ運営推進会議）

作成日：令和8年1月23日

期 日	令和8年1月23日(金)	時 間	13:30~14:00
場 所	アグリよしだ病院 会議室		
出席者 (5人)	利用者・家族		
	地域住民代表	2名	
	糸魚川市職員		
	その他関係者	1名	
	施設スタッフ	2名	

## 会議要旨

議題 (テーマ)	① 前回会議以後の活動内容・サービス提供の報告
	② ヒヤリ・ハット報告
	③ 意見交換
	④ その他

管理者挨拶：2026年が始まり早くもひと月ほどが経とうとしています。本年もどうかよろしく  
お願いいたします。年始から降雪となり、直近でも大雪への警戒が高まっていると  
ころです。

①前回会議（令和7年11月28日）後の活動内容・サービス提供の報告

○利用状況（1月23日現在）

- ・入居者数 9名、平均年齢86.2才、平均介護度1.8  
要介護1 四名、要介護2 三名、要介護3 二名
- ・入居待機者数 6名
- ・入退居 なし

○施設の動向

- ・体調不良者の発生  
1月上旬発熱から始まり顔面のむくみ、腫れ。「丹毒」の診断。抗生剤処方にて治癒。
- ・面会・外出について  
12月上旬、県内インフルエンザ警報を受けて外出・外食のとりやめ。  
玄関先でのスクリーン越しの面会のみ実施。  
1月上旬、グループホーム内体調不良者の対応に専念するため、玄関先での面会の中止。同月中旬には面会の受付を再開。  
1月下旬県内インフルエンザ警報解除となったため、外出・外食の再開を検討中。
- ・感染症対策として食堂テーブル上に仕切りを設置。  
入居者様の調理作業への参加中止。但し、衣類たたみ等は実施。  
集団でのレクリエーションはマスク、手指消毒を行い実施。

○行事報告・ちゃんまいろ紹介

- ・別添「ちゃんまいろ」296号、297号を確認いただいた。

②ヒヤリハット報告

- ・令和7年11月21日から令和8年1月20日分。ヒヤリハット件数3件。  
それぞれについて状況説明をした。

③意見交換

○意見交換

地域住民代表：今回のヒヤリハットの状況において血圧の表記があるがかなり高いように思う。当方の行事中でも気を付けるよう声掛けしていても転倒は起こっており、その場合対処としてはどのようにしたら良いか？

施設スタッフ：ヒヤリハット内の表記血圧は転倒直後の測定値のため高い数値となっている。急を要する状態でなければ、30分後等少し時間をおいて測定することもしている。

地域包括職員：デイサービス等に通ってきている方であれば、通常の高血圧と比較することができるが、地区行事に参加している方であると通常の高血圧と違うのか比較出来ない、日頃より血圧手帳を持参している方もいると思うので参考にさせていただきたい。

施設スタッフ：施設内では、転倒した場面を見ていない時に注意している。特に頭部の外傷、打ち身等ないかを観察する。

地域住民代表：高齢者の住まいを訪問する際には、慌ててケガ等しないよう、急がせない配慮をしている。地区でもゴミ捨ての際に転倒する方を見かけた。  
ヒヤリハット内の内服忘れについて、以前内服の確認体制について聞いており、かなり嚴重に対応されているなという印象を持っていた。それでもいくつかの要因が重なることでこのようなことになるのだと驚いた。

施設スタッフ：入念な確認体制を敷いているつもりであったが、いつもと違う状況が重なると起こりうることなので、要因となる部分を一つひとつ改善していきたい。

地域包括職員：ヒヤリハットつまようじの件について、職員は入居者と同じ場所で食事をしているのか。

施設スタッフ：以前は同じテーブルを囲み食事をしていたが、感染症対策下では同じフロアの離れた場所で食べている。

地域包括職員：同じテーブルで食事をしていれば早くに気づいたと考えるが、感染症対策下としては難しいか。

地域スタッフ：入居者同士では食事中も会話をしながらたべており、職員も味付けなどを聞いて食事を楽しんでいただけるようにしている。

感染症対策下では職員が一緒のテーブルで食事をとることは難しいと感じている。

施設スタッフ：ヒヤリハット内服忘れについて、対応職員は違和感を感じていたとのこと

だが、何か変だなと思ったときは一旦立ち止まるのも重要、勤務者同士で確認する声掛けも大事と考える。

次回運営推進会議は令和8年3月に開催の予定。

以上